

## 『普段着のZEB』を目指し普及版のZEB建築の開発・実践して地域のZEB化を推進

## 須山建設株式会社

【住所】〒432-8012 静岡県浜松市中区布橋2丁目6-1 【TEL】053-471-0321  
 【URL】https://www.suyama-group.co.jp/

## 活動概要

## 緩和分野

## 取組の概要

私たち須山建設が目指すZEBの姿は、『普段着のZEB』。高価な最新の省エネ機器を採用するのではなく、一般的に使う断熱材を、いつもよりも少し厚くつかってみたり、既製品で省エネ性能が高いパッケージ機器を採用するなど、できるかぎり一般的な技術を採用した、見た目は普通だけど省エネ性能が高い『普段着のような』ZEB建築の普及を目指している。

## 気候変動対策としての貢献度

2017年に『普段着のZEB』の開発に着手し、お客様にZEBを積極的に提案・採用することで、現在までに10件(2022年8月5日時点)のZEB認証を取得した。

その内訳は「ZEB:5件」、「NearlyZEB:3件」、「ZEB Ready:2件」となっている。

- ・ZEB認証建物の延床面積合計 8,614m<sup>2</sup>
  - ・一次消費エネルギー削減率の平均値 55%
  - ・屋根上の太陽光発電システム 合計472kw
  - ・創エネによる一次消費エネルギー削減率の平均 48%
- となりCO<sub>2</sub>の削減に大きく貢献することができた。

## 期待される波及効果

ZEB建築の見学会・説明会を実施し、外部への情報発信を積極的に行うことで、ZEBの認知度向上及び、ZEB採用への意識的ハードルが下がることが期待される。

地域密着型の建設会社である須山建設が、積極的な外部発信や啓蒙活動を行うとともに、地域の皆様からのご相談にお応えすることで、今まで以上にZEBの認知度を高め、ZEBを採用しやすい環境づくりを進めることで、この地域により多くのZEB建築が実現されることが期待される。

## 刷新的要素

今までのZEB建築は大規模な施設が多く、さらには最新の技術や機器等を積極的に採用することが多いため、設計者の高い技術力を要するだけでなく、お客様のコスト負担が必要だった。

須山建設は一般的な断熱材や省エネ性能が高い機器を効果的に組み合わせることで、ZEBを達成することができる『普段着のZEB』を独自に開発し、現在までに事務所を中心に金融機関、物販店舗等において10件のZEB建築を設計施工にて実現した。

## 今後の計画、持続的な展開の展望

須山建設は自社で開発した設計手法『普段着のZEB』を設計標準とした。

現在も多くのお客様に『普段着のZEB』を提案し、採用・ZEB認証取得すること推奨している。

今後も完成物件を中心に既存ZEB建築施設を活用した見学会・説明会などを企画、開催しZEBの認知度を高めると共にZEBを採用しやすい環境をつくり、多くのZEB建築の実現に努めていきたい。



わたしたち須山建設が目指すのは  
『普段着のZEB』

設計施工実績  
11件  
2022年11月1日現在

『普段着のZEB』設計施工実績



完成現場見学会 &amp; ZEB説明会を開催



完成現場見学会&amp;ZEB説明会の様子